



## 時間を有効に使って、履歴書・志望理由書を完成させよう!!

### 履歴書について

夏季課外や総合的な学習の時間等を活用して、履歴書の書き方の説明を受けたり、実際に書き方の練習をしてきました。履歴書が就職を希望する会社への最初の挨拶になります。人事担当者にはしっかりと読んでもらえるよう、誤字・脱字の無いようにし、丁寧に書きましょう。履歴書の志望動機の欄は、上手に書けば300字程度の文字数が入ります。下記の点に注意しながら、仕上げていきましょう。

なお、履歴書を企業側に送付して終わりではありません。履歴書に書いたことをもとに、面接対策としての問答集を進路ノートに書きこんでいきましょう。

#### ○志望する企業の経営理念や方針を理解していること。

志望する会社の求人票、会社案内、パンフレットを読み、企業についてよく理解しておくことが大事です。志望動機は会社案内の丸写しではダメです。また、あいまいな表現ではなく、会社案内等を読んで自分が理解できたことを具体的に記載することも大切です。企業研究を十分にし、企業の特徴を理解することで同業他社ではなく、志望する会社に入りたいとする意欲を書きましょう。

#### ○志望する会社の製品やサービス内容を理解していること。

会社案内等で、業界の専門用語が出てきた場合は、億劫がらずに調べてまとめておきましょう。志望動機に記載できなくとも、面接等で詳しく聞かれる場合もあります。

自分や家族または知人らが、志望する会社の製品を所有していたり、サービスを利用したことがある場合は、使ったり利用した時の感想をまとめておけば、志望動機の具体的な例として取り上げることもできます。また、履歴書に記載できなくとも、面接で話すこともできます。

#### ○入社後の心構えも書くこと。

入社後の意気込みや将来の目標を示しましょう。自分の理想とする社員像や入社後は、会社の一員としてどのように社会貢献できるかも考えて書きましょう。

### 志望理由書の書き方

本校の多くの生徒が受験する学校推薦型選抜の最も多い選抜方法は、書類審査（調査書・推薦書・志望理由書）＋小論文または作文＋面接になります。総合的な学習の時間等を活用して、志望理由書の書き方を学んだり、書くための材料集めをしてきました。志望理由書が進学を希望する学校への最初の関門になります。学校によって志望理由書の評価の取り扱い様々ですが、通常であれば、面接の際に志望理由書の内容を詳しく聞かれることになります。面接の際に慌てないように、志望理由書の内容を精選して仕上げていきましょう。

#### ○自分をよく理解することと理解してもらうこと！

学校側は、「高校で、何をして来たのか。」「なぜ、その学校を志望するのか」「なぜ、その学部を志望するのか」「志望校で何をやりたいのか。」「卒業後、何を目指しているのか。」を知りたがっています。自分が何に興味や関心があって、志望校でどんな学問を勉強・研究したいかなどをしっかりと把握しましょう。

志望理由書を書くにあたって、気を付けてもらいたいことは、自分のことを知らない志望校の人に、自分をわかってもらうということを目的に書くことです。自分の言葉でわかりやすく簡潔に書くことを意識しましょう。

## ○具体的に書くこと！

将来の目標や学校で勉強したいことを「興味がある」だけにとどまらず、何故興味を持ったのか自分の経験を交えながら書くことが大切です。今後どんな研究をしていきたいかは、自分の希望する学校の特色と関連付けながら書くことが大切です。そのためにも、志望校の教育方針やアドミッション・ポリシーなどは、最低限把握し、自分の言葉で説明できるようにしておく必要があります。志望学部・学科の学びや研究に関する本を読んだりすることで、積極的に知識や情報を取り入れることも具体的に書くために必要なことです。

## ○わかりやすい文章を書くこと！

志望理由書も小論文と同じで、構成メモを軸に文章をつくっていきましょう。当然のことながら志望理由書のテーマは「志望理由」です。いくつか項目分けしている志望理由書もありますが、「志望理由」に関連付けて考えて書きましょう。一文が長すぎて、主語と述語の関係が不明確になってしまう文章やいろいろ話題を盛り込みすぎて、何を主張しているのかわからない文章にならないように注意しましょう。

## ○「過去・現在・将来」を整理して書くこと！

「現在」とは今、興味を持っていることや今、努力していることを示しており、現在の状況を書くこと。「過去」とは、興味や関心を持つきっかけとなった出来事や過去の経験を書くこと。「将来」とは学校で何を学んでみたいか。どのような分野の職業に就きたいか。卒業後はどのようにして社会貢献したいかを書くこと。特に「将来」については、不確定な要素が多いため、今自分が思い描いている将来像をわかりやすく伝える努力をすることが大切です。この「過去」・「現在」・「将来」が矛盾なく繋がるように志望理由書の内容を吟味しましょう。

# 志望校情報の集め方

3年生に限らず、1・2年生もこれからの進路希望決定のために情報を集めておく必要があります。インターネットを通じて様々な情報が飛び交います。このため、情報を取捨選択する能力もこれから必要になってきます。3年生になって慌てることのないよう、1・2年生の時から進路選択に必要な正しい情報を集めることをはじめましょう。

## ○志望する大学の学部・学科の模擬授業を動画で確認しておこう。

新型コロナウイルスの影響で、オープンキャンパスを自粛する学校も増えてきています。その代わりにホームページの動画サイトを増やしている学校もあります。特に気になっている学部・学科や担当の先生の模擬授業は視聴してみてください。違う学校の同じ学部の模擬授業を比較することで、学校の雰囲気の違いや環境がわかります。自分に合った学校を見つけるためにも比較検討していきましょう。

また、オンライン相談会も有効に活用していきましょう。大学の教授や先輩方が、リアルタイムであなた方の疑問に思っていることや問題点について答えてくれます。

# 集中学習会と生徒対象小論文講習会

8月4日（火）～7日（金）の4日間、大学進学希望者の集中学習会を本校で行いました。2年生13名、3年生17名の参加になりました。例年ですと郡山などの施設に宿泊をしていますが、今年度は新型コロナの影響で本校での開講のみになりました。2年生は国語・数学・英語の3教科、3年生は国語・英語国教英・理科・地歴の5教科の集中学習会を行いました。

その中で、8月5日（水）に、**駿優予備学校郡山校より小倉孝太郎先生**をお招きし、生徒対象小論文講習会を90分の講義で行いました。国公立大学の過去問を参照しながら、2年生は小論文の基礎、3年生は小論文の発展問題等を詳細に解説していただきました。受講後は、本校国語科教員による小論文指導で実際に小論文を書き、集中学習会の最終日に小論文の講評も行いました。

今回の講座の感想では、小論文を書く上で何が不足しているのかの質問に、「正しい日本語の使い方」「語彙力」「論文を書くための情報や知識」「文を構成する力」「小論文を書く経験」等の回答があげられました。

また、小論文の力を向上させるため必要なこととして、「読解力をつけること」「自分の意見を持つために普段からニュースや新聞を見ること」「注目されている事柄や興味のある言葉について調べてみる」「過去問を解くことが重要」「構成メモをつくり、これを基に論述できるようにする」などが意見として出ました。これから3年生は、教員による添削指導も始まっていきます。各自、入試に対応できる実力を身につけていきましょう。